

資料9

平成 27 年 7 月 24 日

京都市教育長 在田正秀 様

京都市地区中学校教科書選定委員会
委員長 安居 昌行

平成 28 年度から平成 31 年度まで京都市立中学校及び西京高等学校
附属中学校において使用する教科書の選定について(答申)

別紙のとおり答申いたします。

- 1 国語科
- 2 国語科（書写）
- 3 社会科（地理的分野）
 - // (地図)
 - // (歴史的分野)
 - // (公民的分野)
- 4 数学科
- 5 理科
- 6 外国語科
- 7 音楽科（一般）
 - // (器楽)
- 8 美術科
- 9 保健体育科
- 10 技術・家庭科（技術分野）
- 11 技術・家庭科（家庭分野）

国語科

国語科について、以下の観点に基づき、発行者ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るために工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、3領域それぞれに言語活動が効果的に取り入れられ、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 伝え合う力を高めるために、3領域1事項が調和的に取り扱われており、各教材で付けたい力が明確で、同時に古典等伝統的な言語文化に親しめるよう教材・単元が適切に設定されていること。
- 5 生涯にわたって学び続ける態度をはぐくめるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるように考慮されていること。
- 6 単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。
- 7 基本人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

国語科

調査研究の結果

■東京書籍「新編 新しい国語1」「新編 新しい国語2」「新編 新しい国語3」

巻頭の領域別の教材一覧表の中に教材ごとに目標を明示し、付けたい力と言語活動を確認した上で、年間の学習を段階的に見通すための工夫がされている。特に言語能力の基礎となる漢字の学習については、日常生活の中で生徒が活用できることを目指し、新出漢字を各ページの下段に抽出し、さらに熟語例を付けるなど、確実な定着が図られている。また、生徒が楽しみながらゲーム感覚で取り組めるような文法単元、家庭学習として使いやすい教材など、生徒の意欲的・主体的な学びを引き出す工夫も多くなされている。

古典作品の取り扱いについては、作品の背景を紹介する随筆を配列するなど、学習の導入の円滑化を図っている。また、巻末の資料編に関しては、二部構成になっており、「基礎編」には、漢字や文法をはじめとした基礎的な知識を整理して掲載し、「資料編」には、発展的な内容や資料を豊富に掲載するなど、各領域の学習についても、生徒の学習進度等に応じて、柔軟な授業展開が図れるよう配列が工夫されている。

全学年の教科書で、新聞・ニュース・取材活動を題材にした学習が取り上げられ、メディアリテラシーの視点を意識した学習展開が図られているとともに、戦争、自然環境、世界の文化を題材とした教材に考察・表現活動が設定されていることで、人権や道徳に関わる内容を主体的に学べるよう工夫されている。

全体として、言語活動の取り入れ方や主体的な学習展開に向けて多くの工夫がみられる反面、中学生にはやや高度であると感じられる活動例も含まれているが、その点を補うべく、豊富な挿絵やイラスト、図表、写真によって、生徒の文章理解や指示理解に役立てる工夫も同時になされている。

「選定の視点」の評価結果：◎5 ○21 △0

■学校図書「中学校国語 1」「中学校国語 2」「中学校国語 3」

教材ごとに目標や学習内容が示され、学習課題が段階的に設定されるなど、生徒の主体的な学びを促す工夫がなされているが、年間の教材一覧は提示されておらず、学習を見通す工夫が不十分である。また、文法や語句の知識について、年間を通じて系統的に学べるよう配列が工夫され、基礎基本の習得が図られる反面、教材として選ばれた随筆や近代作品等の中には、中学生にとってやや難易度が高いと思われる作品もあり、授業で扱いにくい。さらに、巻末に常用漢字表を添付することで、生徒が自分の学びに合わせて復習し、漢字の確実な習得を図るとともに、単元ごとに、生徒自身が自己評価できる表を付けたり、教材ごとに読書紹介を行ったりすることで、次の学習への意欲を喚起することが意図されているが、読書案内の分量は少ない。

古典に関しては、近代作家の作品や現代的な主題を含んだ内容を取り上げるとともに、関連書籍を紹介するなどの学習が設定され、古典作品の内容と自分の体験を結びつけながら学習できるよう配慮されている。

教材の筆者が多様な職業から選ばれていたり、対立した立場の人の意見交流を通して他者配慮や自分の考えを持つことを促す記述がみられるなど、グローバル社会を意識した題材を全学年で複数取り上げることで、人権や道徳に関わる内容についての配慮もなされている。

ただし、全体として長めの物語が多い傾向にあり、「読むこと」の学習が重視されている。また、紙面はどの学年も色づかいが少なめで見やすくなっているものの、発展的な内容が書かれたコラム欄で、一部文字が小さく見づらいものもある。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○18 △7

■三省堂「現代の国語1」「現代の国語2」「現代の国語3」

教材ごとに目標を明示するとともに、巻頭に領域別の教材一覧を掲載するなど、付けたい力と言語活動をあらかじめ明示することで、見通しを持って学習を進める工夫がなされている。また、巻末には、「学習用語辞典」「漢字字典」といった生徒が主体的に活用できる資料を添付し、言語能力の基本となる語彙や漢字の確実な習得が図られている。さらに、教材の読み方がわかりやすく示されるとともに、意見文やレポート、鑑賞文を書くまでの学習活動が、わかりやすい手順や例示で示されるなど、生徒が主体的に問題解決的な学習を進められるような展開が工夫されている。

現代文の「読む」教材はやや少ないが、物語・説明文・韻文がバランスよく配列されており、古典作品については多彩なジャンルから比較的多くの作品が取り上げられている。特に巻末には、古事記から落語まで幅広いジャンルの古典を紹介し、教材文の他の章段を掲載するなど、学習後に興味・関心に応じて古典を楽しめるよう配慮がなされている。また、単元の学習と関連させて文章の読み方や書き方、様々な思考の技法を整理してまとめることで、他教科及び総合的な学習への発展、生涯にわたって学ぶ意欲の育成を意図する工夫もなされている。

視覚障害者や戦争を題材にした作品など、人権や道徳に関わる内容について言語活動を通して体験的に学ぶことができるよう工夫されているとともに、全学年の教科書で、「話す・聞く」活動には人の顔の図、「書く」活動には鉛筆の図を使用するなど、支援が必要な生徒の文章理解や指示理解のための配慮もなされている。ただし、カラーページに書かれた色付きの文字の中には、若干判別しづらいものがある。

「選定の視点」の評価結果：◎2 ○23 △1

■教育出版「伝え合う言葉 中学国語1」「伝え合う言葉 中学国語2」「伝え合う言葉 中学国語3」

単元の学習を段階的に見通すため、教材ごとに目標を明らかにし、言語活動と学習の重点を明示するなどの工夫がされている。また、言語活動のポイントを豊富に示し、活動の流れに沿って思考力・判断力の育成を図るとともに、多様な課題例、生徒作品例がわかりやすく示されることで、生徒が自身の作品と比較しながら主体的に活動を進めることができるよう工夫されている。さらに、新出漢字は教材ごとに抽出し、読みや用例、練習問題とともに提示した上、巻末に学習した漢字をまとめて掲載するなど、確実な定着が図られている。

古典は親しみやすい内容の作品を取り上げ、学習の円滑化が図られるとともに、折り込み資料

等で百人一首、落語、和歌や俳句など、様々な時代の日本語の韻律に親しむ工夫がなされている。

全学年で、新聞・取材等を題材にした学習が取り上げられ、メディアリテラシーへの関心を高める工夫がされている。また、人種差別を題材にした教材やパラリンピック選手の手記など、社会的弱者の思いに目を向けさせる教材が取り上げられ、人権的・道徳的な配慮がなされているが、「読む」教材の数は他社と比較して少なく、また、3学年の紙面について黒字と色付き文字の識別が若干難しいページがある。

「選定の視点」の評価結果：◎1 ○2 1 △4

■光村図書出版「国語1」「国語2」「国語3」

教材ごとの目標の提示に加え、巻頭での領域別の教材一覧表においても付けたい力と言語活動を明示し、年間を見通した段階的な学習が一目でわかるように工夫されている。また、巻末には、文学的・説明的な文章を読むための基本的な方法・用語や小学校6年生で学習した漢字の練習問題を掲載し、基礎から発展まで柔軟に対応できる資料内容になっている。さらに、言語能力の基礎となる漢字の習得についても、単元末に読み方と熟語を併記して掲載し、巻末で、改めて筆順と短文を併記した一覧を掲載するなど、日常生活での活用を念頭に置いて記載がなされている。

1学年の教科書は、小学校からの接続を意識し、最初の単元で中学校の学習に向けた準備が行えるよう工夫されており、また、「話す・聞く」「書く」といった教材では学習の流れが図示されるなど、生徒が学習の段階を理解しながら問題解決的な学習に取り組みやすく設定されている。中でも「書く」活動が充実しており、物語・説明文・韻文・古典など、各単元とバランスよく関連づけた設定がなされている。また、「読む」単元と「話す・聞く」「書く」活動との関連と同時に、総合的な学習や美術、音楽などの他教科と関連付けやすい題材が選ばれており、活動の整合性がつけやすい。さらに、全体的に自分の考えを持つことが重視される構成となっており、生徒の探究意欲を引き出す発問の工夫が優れている。

古典に関しては、いろは歌と百人一首、古典芸能と落語など、様々な古典作品を現在とつなぐ系統的な教材設定によって、初步的な知識でも無理なく古典の世界に親しめる工夫がされている。

被災地を取り上げた作品などに関わる考察・表現活動を設定し、多様性を認め尊重する姿勢や社会の変容に対応する態度を育めるよう配慮されている。また、文章中の傍線は色だけでなく線種でも識別できるよう工夫されており、ユニバーサルデザインの視点も配慮されている。

「選定の視点」の評価結果：◎1 5 ○1 1 △0

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料 一国語科一

【選定の観点1】 国語科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○各単元に開連した3領域1事項(※)が調和的に配列され、基礎基本を確実に習得できるよう工夫されている。</p> <p>○教材ごとに目標を明らかにするとともに、個別の教材一覧を掲載するなど、付けたい力と言語活動を明示することによって、年間の学習を段階的に見通す工夫がされている。</p> <p>○国語科の学習の基礎となる「読み」領域で、手引に目標と学習過程が示され、生徒が自身の学習進度を確認しながら主体的に学べるように工夫がされている。</p> <p>○「基礎編」を設け、漢字の読みや表現、文法などを基礎から系統的に学習できるとともに、「資料編」に発展的な内容を含めることにより、各領域の学習を豊かにしている。</p>	<p>○各単元において、「読み」領域を中心とした3領域1事項が、調和的に配列され、基礎基本を確実に習得できるよう工夫されている。</p> <p>○教材ごとに目標を明示するとともに、領域別の教材一覧を掲載するなど、付けたい力と言語活動を明らかにすることで、単元の学習を段階的に見通せるよう工夫されている。</p> <p>○文法や語句について、年間を通して系統的に学習するように工夫がされている。</p> <p>○「読み」領域では、目標と学習過程を具体的に説明しながら読みの方法が整理されるなど、主体的に学びを促している。</p> <p>○新出漢字の読みや文法について、練習問題を含めた年間の学習の流れを掲載することで、基礎の定着が図られている。</p>	<p>○各単元に開連した3領域1事項が調和的に配列され、基礎基本を確実に習得できるよう工夫されている。</p> <p>○単元の学習を段階的に見通すため、教材ごとに目標を明らかにし、言語活動と学習の重点を明示するなど工夫されている。</p> <p>○「読み」領域では、目標と学習過程を具体的に説明しながら読みの方法が整理されるなど、主体的に学びを促している。</p> <p>○言葉と文法について詳しく説明し、毎回事項に加えて、発展的な学習課題を設定することによって、基礎の定着が図られている。</p> <p>○教材数が他社と比較して少くない。</p>	<p>○各単元に開連した3領域1事項が調和的に配列され、基礎基本を確実に習得できるよう工夫されている。</p> <p>○教材ごとに目標を明示するとともに、個別の教材一覧を掲載するなど、付けたい力と言語活動が特に明確に示されている。また、年間を見通した学習が段階的に理解できるよう工夫されている。</p> <p>○「読み」領域では、目標と学習過程を簡潔に示すとともに、具体的な活動例や段階的な活動過程が示され、主体的な学びを促す工夫がされている。</p> <p>○文学的・説明的文章を読むための基本的な方法・用語が折り込み資料で掲載され、また、小学校6年生で学ぶ漢字の練習問題が設定されるなど、発展的な学習に加え、基礎の定着にも力を入れている。</p>	

(※) 3領域：「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」、1事項：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【選定の観点2】

思考力・判断力・表現力等を育成し、言語能力の確実な定着を図るためにの配慮がされていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○文章を要約する力につながる教材を意図的に取り上げるなど、言語能力の育成を図るために工夫している。</p> <p>○言語能力の基礎となる漢字について、新出漢字をページ下段に抽出し、熟語例を付けて、また、巻末に常用漢字表を添付するなど、漢字を復習しやすくすることで、その確実な定着を図っている。</p> <p>○新出漢字の筆順や部首・用例・慣用句等</p>	<p>○単元ごとに力を確認するための項目を挙げ、生徒自身が言語能力の育成を意識できるように工夫している。</p> <p>○単元ごとに漢字と用例を一括して提示し、また、巻末に常用漢字表を添付するなど、漢字を復習しやすくすることで、その確実な定着を図っている。</p>	<p>○巻末に「学習用語辞典」を設け、学習活動の確認に貢献できるようにする上で、生徒の思考力・表現力を育む面で、意識がなされている。</p> <p>○新出漢字を教材ごとに抽出し、読みや用例を提示した後に、練習問題を設定するとともに、巻末に学年で学習した漢字をまとめて載せるなど、その定着に向けた工夫がなされている。</p>	<p>○言語活動のポイントを豊富に示すことでの、活動の流れに沿って思考力・判断力の育成を図っている。</p> <p>○新出漢字を教材ごとに抽出し、読みや用例を提示した後に、練習問題を設定するとともに、巻末に学年で学習した漢字をまとめて載せるなど、その定着に向けた工夫がなされている。</p>	<p>○学習の用語を一覧に整理することで、活動に応じて思考・判断・表現を振り返る工夫がみられる。</p> <p>○単元ごとに新出漢字を抽出し、読みや用語を配列するなど、確認しやすくすることで、その確実な定着を図っている。</p> <p>○語彙を広げるため、巻末に改めて学年の新出漢字表を掲載し、筆順や短文を付ける</p>

が確認できる資料を掲載し、語彙を広げる工夫がなされている。	ことで、定着を図る工夫がなされている。
-------------------------------	---------------------

【選定の観点3】

生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、3領域それぞれに言語活動が効果的に取り入れられ、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。

発行社名	2 東書	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
○1年間の学びが各領域に図示されるとともに、ゲーム感覚で学べる文法單元が設定されるなど、主体的に学ぶ意欲を引き出す工夫が優れている。 ○家庭学習に使える学習材料が豊富で、主体的に学ぶ意欲を高められるよう配慮がされている。 ○「話す・聞く」「書く」活動を関連させた読み物教材が多く取り上げられるなど、言語活動の例が具体的で、学習内容が再確認ややすいなど、生徒が自己的課題を見通しながら問題解決的に取り組む配慮がなされている。	○単元ごとにねらいを明示し、生徒自身が自己評価も行えることで、次の学習にも意欲的に取り組めるよう配慮がされている。 ○教材ごとに、同じ作者の他の作品や同じテーマの作品が紹介されるなど、教材学習後の主体的な学習の幅を広げるとともに、問題解決的な学習を展開する際の手立てやヒントとなっている。	○教材ごとに読み方が分かりやすく説明され、誰でも意欲的に取り組みやすい。 ○「書くこと」の領域で、意見文やレポート、鑑賞文など様々な種類の活動が設定され、その手順や例もわかりやすく、主体的・問題解決的な学習につながる。 ○自分で課題を設定しにくい生徒にも、主体的に学習を進めらための手立てが示されるなど工夫がなされている。	○課題例、生徒作品例などの例示がわかりやすく説明され、生徒の主体的な活動を促す工夫がなされている。 ○意欲的に学習を進められるよう、単元ごとに問題解決の道筋を説明する項目が明示されるとともに、複数の作品を読み比べられるよう構成が工夫されるなど、問題解決的な学習への展開が優れている。	○単元ごとに学習の流れが明確に書かれたり、生徒が見通しをもつて学ぶ意欲を引き出す工夫がなされている。 ○小学校からの接続を意識し、中学校の学習に向けた準備が最初の単元で行えるよう工夫されている。 ○全体を通して、豊富な言語活動例が効果的に配されるとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材に、学習の見通しが図示されているため、生徒が学習の流れを理解しながら、問題解決的な学習に取り組みやすいなど、優れている。	

【選定の観点4】

伝え合う力を高めるために、3領域1事項が調和的に取り扱われており、各教材で付けたい力が明確で、同時に古典等伝統的な言語文化に親しめるよう教材・単元が適切に設定されていること。

発行社名	2 東書	11 学図	15 三省堂	17 教出	38 光村
○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられ、言語活動の参考が示されている。 ○古典において、近代作家や現代的な主題親しみやすい古典作品を取り上げることにより、円滑な導入が図られている。 ○古典に古事記から落語まで幅広いジャンルの古典が紹介されているほか、教材文や図版を用い、様々な時代の言語文化に親しめるよう工夫されている。	○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられており、「読む」教材はやや少ないが、物語・説明文・韻文がバランスよく配置されている。 ○古典学習の導入において、近代作家の作品や身近な作品など多彩なジャンルから豊富な作品を取り上げられ、充実している。 ○古典に古事記から落語まで幅広いジャンルの古典が紹介されているほか、教材文の他の章段を掲載するなど古典を楽しむ活動の展開が図られ、古典と自分の体験を結びつけながら学習できている。	○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられており、「読む」教材の数はやや少ないが、説明文と韻文が多く掲載されている。 ○古典の導入に、近代作家の作品や身近で作文するなど、作品と自分自身を結び付けて作文するなど、古典作品を取り上げ、学習の円滑化が図られている。	○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられており、教材の活動はやや少ないが、説明文と韻文が多く掲載されている。 ○古典学習の導入において、近代作家の作品や身近な作品などを取り上げ、充実させている。	○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられており、教材の活動はやや少ないが、説明文と韻文が多く掲載されている。 ○古典の導入に、近代作家の作品や身近な作品などを取り上げ、充実させている。	○「読む」単元に、「話す・聞く」「書く」活動が適切に関連付けられており、教材の活動はやや少ないが、説明文と韻文が大きく掲載されている。 ○古典の導入に、近代作家の作品や身近な作品などを取り上げ、充実させている。

		○読書教材として使える長めの物語が比較的多く配列されているが、ひとつつの物語が長すぎたり、作品数が多くなりすぎるため、3領域の学習にバランスを欠いている。	ぐ教材設定によって、初衷的な知識でも無理なく古典を楽しめる工夫が優れている。 ○文語の韻文や日常に息づく古語を取り上げ、伝統的な言語文化に自然に親しめるよう工夫されている。
--	--	---	---

【選定の観点5】
生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○身近な食や世界遺産に関する教材を多く取り入れ、生徒の探究心を引き出す工夫がなされている。</p> <p>○「読書案内」として、教材で学んだことと関連付けながら読書活動へ発展できるよう工夫されている。</p> <p>○卷末の資料は「基礎編」「資料編」と二部構成になり、基礎から発展的な学習にまで幅広く対応できる構成になつており、多様な展開が可能な構成が優れている。</p> <p>○教材に「学びを広げよう」という発展的な課題を掲載し、古典的・伝統的な言語文化への発展的な学習につなげている。</p> <p>○教材ごとに、著者に関する他の作品や同じテーマの作品を掲載することで、生徒の自主的な学びを促し、さらに発展的な学習がなされている。</p> <p>○読み方や書き方の技法を整理してまとめることで、国語を生涯にわたって学び続ける態度や意欲の育成に役立てようとしている。</p>	<p>○各教材に古語のまとめを掲載し、古典的・伝統的な言語文化への発展的な学習につなげている。</p> <p>○単元ごとに、関連書籍を掲載することで、生徒の自主的な学び、さらに探究活動を促している。</p> <p>○読み方や書き方の技法を整理してまとめることで、国語を生涯にわたって学び続ける態度や意欲の育成に役立てようとしている。</p>	<p>○各教材に「言葉の自習室」に、様々な学習に役立つ「話す・聞く」「書く」ための技法が整理され、学びのスキルを高める工夫がなされている。</p>	<p>○各教材に開題する本をあらすじ付きで掲載することで、生徒の探究心を引き出す効果を狙っている。</p> <p>○巻末の「言葉の自習室」に、様々な学習に役立つ「話す・聞く」「書く」ための技法が整理され、学びのスキルを高める工夫がなされている。</p>	<p>○各教材で、自分の考えを持つことが重視される構成であり、生徒の探究意欲を引き出す発問が工夫されるなど、優れている。</p> <p>○教材ごとの読書紹介とは別に、「読書案内」のページを設け、生徒の多様な興味・関心を越野に流れながら読書意欲の向上や読書習慣を育むための工夫が優れている。</p> <p>○巻末に「学習を広げる」として、教材と関連した複数の読み物や資料を掲載することで、発展的な学習とともに、将来的に学び続ける態度や意欲を育むための工夫が優れている。</p>

【選定の観点6】

単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探求（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮されていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	<p>○「読む」单元も「話す・聞く」「書く」活動へと系統性を持たせた学習内容であり、活動の整合性が明確である。</p> <p>○「話す・聞く」「書く」单元で、他教科および総合的な学習に関連したテーマで学習活動が展開できるよう教材が工夫さ</p>	<p>○外国人教育、国際関係などをテーマとし、た読み物教材が多く配列され、他教科や道徳との関連を意識付ける工夫がなされている。</p> <p>○「考える広場」として、様々な思考方法について図示を交えて紹介することで、他教科おもと総合的な学習につながるよう</p>	<p>○3技能の教材が交互にバランスよく系統的に配列され、万遍なく学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「考える広場」として、様々な思考方法について図示を交えて紹介することで、他教科おもと総合的な学習につながるよう</p>	<p>○「読む」单元も「話す・聞く」「書く」活動へと系統性を持たせた学習内容であるとともに、他教科と関連付けられ内容が示されており、活動の整合性を付けやしないほど優れている。</p> <p>○四季の名歌、名句・名話を紹介するページを設定し、伝統文化と結びつけながら発表や話しあいの方法、作文の書き方な</p>	<p>○「読む」单元も「話す・聞く」「書く」活動へと系統性を持たせた学習内容であるとともに、他教科と関連付けられ内容が示されており、活動の整合性を付けやしないほど優れている。</p> <p>○四季の名歌、名句・名話を紹介するページを設定し、伝統文化と結びつけながら発表や話しあいの方法、作文の書き方な</p>

れている。	育の意識付けが図られている。
○云統産業・環境教育および情報教育（メディア）に配慮した教材とともに、巻末にそれらを発展させた学習活動のための資料を取り上げている。また、全学年で、新聞・ニュース・教材等を題材にした学習展開が図られているなど、教育課題との関連への配慮が優れている。	○戦争と報道を題材にした教材が取り上げられるなど、メディアリテラシーへの意識付けが図られている。
	○「読むこと」の学習がやや重視された配列である。

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の観点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
○戦争中の体験を経つた随筆や世界各の文化や環境を取り上げた教材など、生命の尊重や自然の大切さを感じられる内容が積極的に取り上げられている。	○国際化する世界を意識した題材が全学年で複数取り上げられるなど、平和や国際協調を考える機会が多く設定されている。	○他者との感情の共有、思いやりの心を培うような読み物教材が全学年で複数取り上げられている。	○人種差別を題材にした教材や、ペラリンピック選手の手記など、社会的弱者に目を向けさせるような教材が取り上げられている。	○人間・社会・世界への思いを巡らせられるような教材が、多彩に全学年で複数取り上げられ、充実している。	○人間・社会・世界への想いを巡らせられるような教材が、多彩に全学年で複数取り上げられ、充実している。
○戦争や自然環境を題材にした教材に關わる考察・表現活動を設定することで、人権や道徳に関する内容について配慮されている。	○対立した立場の人との意見交流など、他人の尊重や自分の考えを持つことを促すための記述が掲載されるなど、人権教育や道徳教育に關わる内容について配慮されている。	○視覚障害者や健常者を題材にした作品など、人権や道徳に關わる内容を体験的に学ぶことができるよう工夫がなされている。	○ピクトグラムや点字を掲載し、人権や道徳に關わる実例を生活の中で学ぶ工夫がなされている。	○被災地を取り上げた作品等に關わる考察・表現活動を設定し、多様性を認め、尊重する姿勢と、社会の変容に対応する態度を育むための配慮が優れている。	○被災地を取り上げた作品等に關わる考察・表現活動を設定し、多様性を認め、尊重する姿勢と、社会の変容に対応する態度を育むための配慮が優れている。

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

発行社名	2 東書	1 1 学図	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
○色使いや字の大きさは適切で、色付きの文字は書体が変えてあり、色の識別が難しい場合への対応がされるなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。	○あまり多くの色を使用していないため、色使いは見やすく適切であり、ユニバーサルデザインに配慮されている。	○文字の大きさや色、書体も見やすく、ユニバーサルデザインに配慮されるなど、構成が優れている。	○文字の大きさや色など、ユニバーサルデザインに配慮されている。	○紙面の構成や文字の色、大きさも見やすく、最終ページの色合いで配慮される。	○紙面の構成や文字の色、大きさも見やすく、最終ページの色合いで配慮される。
○中学校漢字と小学校漢字を○と△の記号に分けて表示し、支援が必要な生徒に向	○「話す・聞く」には顔の図を、「書く」には鉛筆の図を入れるなど、支援が必要な生	○「話す・聞く」には顔の図を、「書く」には鉛筆の図を入れるなど、支援が必要な生	○「話す・聞く」には顔の図を、「書く」には鉛筆の図を入れるなど、支援が必要な生	○随所に挿絵や図があり、支援が必要な生	○随所に挿絵や図をしている箇所も同時

<p>で、支援が必要な生徒の文章理解や指示理解に役立っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した紙・植物油インキを使用するとともに、造本も堅牢である。 ○発展的な内容の書かれたコラム欄の文字は一部小さすぎて見づらい。 	<p>生徒の文章理解や指示理解に役立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した紙・植物油インキを使用するとともに、造本も堅牢である。 ○カラーページに書かれた色付き文字の中、若干識別しづらいものがある。
	<p>生徒の文章理解に役立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生紙・植物油インキを使用するとともに、造本も堅牢である。 ○カートンの書かれた色付き文字の中、若干識別しづらいものがある。
	<p>生徒の文章理解に役立つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生紙・植物油インキを使用するとともに、造本も堅牢である。 ○カートンの書かれた色付き文字の中、若干識別しづらいものがある。

国語科

「○」優れている 「△」標準的 「△」やや劣る

選定の柱		選定の観点	選定の視点	選定の視点	東京書籍	学校図書	三省堂	教育出版	光村図書
1 基本的・基礎的な知識・技能	国語科の目標を達成するためには、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るために、基礎的・基本的な工芸・配慮がされていること。	1 単元の配列・教材選択	1 単元の配列・教材選択	○	△	○	△	△	○
		2 基礎的・基本的な学習内容の定着	2 基礎的・基本的な学習内容の定着	○	△	○	○	○	○
		3 目標や付けたい力の明示	3 目標や付けたい力の明示	○	○	○	○	○	○
2 思考力・判断力・表現力等	思考力・判断力・表現力等を育成し、言語能力の確実な定着を図るために、各教材で付けてあること。	4 学習活動の見通しの明示	4 学習活動の見通しの明示	○	△	○	○	○	○
		1 言語能力の段階的な育成	1 言語能力の段階的な育成	○	○	○	○	○	○
		2 新出漢字・語彙の習得の工夫	2 新出漢字・語彙の習得の工夫	○	○	○	○	○	○
3 学習意欲	生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、3領域それぞれに言語活動が効果的に取り入れられ、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。	1 意欲・主体性を引き出す工夫	1 意欲・主体性を引き出す工夫	○	○	○	○	○	○
		2 効果的な言語活動の設定	2 効果的な言語活動の設定	○	○	○	○	○	○
		3 問題解決的な学習の展開の工夫	3 問題解決的な学習の展開の工夫	○	○	○	○	○	○
4 言語活動の充実	伝え合う力を高めるために、3領域1事項が調和的に取り扱われており、各教材で付けてあること。	1 3領域1事項の調和的な配置	1 3領域1事項の調和的な配置	○	△	○	○	○	○
		2 現代と古典の系統的なつながり	2 現代と古典の系統的なつながり	○	○	○	○	○	○
		3 多様な古典作品の取り扱い	3 多様な古典作品の取り扱い	○	○	○	○	○	○
5 生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)	生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。	4 古典への親しみと古典的教養の尊重	4 古典への親しみと古典的教養の尊重	○	○	○	○	○	○
		1 読書活動の促し	1 読書活動の促し	○	△	○	○	○	○
		2 探究意欲を高める工夫	2 探究意欲を高める工夫	○	○	○	○	○	○
6 各教科独自の観点・他教科等との関連	単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生涯問題などの教育課題との関連について配慮されていること。	3 発展的な学習の展開の工夫	3 発展的な学習の展開の工夫	○	○	○	○	○	○
		1 単元構成の系統性・発展性	1 単元構成の系統性・発展性	○	△	○	△	△	○
		2 他校種との関連	2 他校種との関連	○	○	○	○	○	○
7 基本的人権の尊重・道徳性の育成	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点から、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	3 他教科との関連	3 他教科との関連	○	○	○	○	○	○
		4 環境・情報・職業教育との関連	4 環境・情報・職業教育との関連	○	○	○	○	○	○
		1 人権教育の推進	1 人権教育の推進	○	○	○	○	○	○
7 各教科独自の観点・他教科等との関連	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい紙面の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。	2 道徳教育の推進	2 道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○
		1 文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ等	1 文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ等	○	△	○	○	○	○
		2 装丁や紙面のレイアウト	2 装丁や紙面のレイアウト	○	○	○	△	○	○
7 各教科独自の観点・他教科等との関連	堅牢な造本	3 堅牢な造本	3 堅牢な造本	○	○	○	○	○	○
		4 ユニバーサルデザインの視点	4 ユニバーサルデザインの視点	○	○	△	△	△	○